

“学ぶ”の極意は“真似ぶ”にあり!

木村義秋

日本語を学ぶテーブルは、いつも明るく活気があって国際色豊かです。先生(スタッフ)のまねをして言葉の抑揚を確認したり、手本の文字を一字一字真似したり、教材を指で追いながらゆっくり音読したり……。教材のテーブルでは、英語、数学、資格試験など各自の課題を先生と1対1で取り組んでいます。

こうした教室の光景と出会い、ふと思いだしたことがあります。……40年くらい前のことです。NHK通信教育・高校物理のスクーリング講師をしたことがありました。普段1人で勉強している受験生が課題レポートについて直接質問としたり、補充解説を受たり老若男女200名ほどが集まった1回目のことです。出欠を取ると、元気な返事の多くが年配者なのです。『何か要望ある?』ときくと、若い人から『レポートの答え教えて、』『短時間で終わるのがいい』一方、年配者からは『答えが1番。でも、学校の雰囲気も味わいたい』『教科書を読み(音読)たい』『実験できる?』と意欲的です。次回からレポートの回答や解説を早めに済ませ、全員で教科書の音読会、問題を解くスピードの競争会、小実験の討論会、自分の仕事の報告会などを企画しました。毎回、時間超過で焦りましたが不思議と不満の声はなく、回数を重ねるごとに教室内は年齢差を感じさせない場となりました。「学ぶとは何か?学ぶとは楽しいこと!」を実感した時間を共有したことを。……

よく、『まなぶ(学ぶ)の語源はまねぶ(真似ぶ)だ!』という人がいます。歴史的には、2つの言葉は同時代にあったらしく諸説があるようですが、「“学ぶ”の極意は“真似ぶ”にあり!」というのは真理なのでしょう赤ちゃんが言葉を覚えるときも若手職人が技術を身につける時もまずは「真似をする」のですから。『真似は、いつまで経っても真似』と卑下する人もいますが、真似することで得た“真似もの”を“自分のもの”に変えていく過程こそが「学び」なのでしょう。

毎回、新しい仲間がこの教室の扉を叩きます。それぞれ“初心貫徹”を忘れずに、これからも大いに“真似(学)ぼう”ではありませんか。



が つ きょうむつよ て い
9・10月の教室予定

月	川口パートナーステーション(火曜日)					栄町公民館(金曜日)				
9月	1日	8日	15日	22日	29日	4日	11日	18日	25日	—
10月	6日	13日	20日	27日	—	2日	9日	16日	23日	30日

 休み

かいぎ
スタッフ会議 (25、29日)

この日の学習は8時までになります。
 スタッフは必ず出席 しましょう。出席
 出来ない人は必ず連絡をしてください。

スタッフ会議議題
 30周年集会に向けて
 折り紙教室について
 その他

事務局コーナー

事務局会議 (30周年実行委員会)

9月9日(水)(第2水曜日)

川口市民パートナーステーション (19時より)

署名活動 9月13日浦和駅



30周年集会に参加しよう!!

今年30年を迎えることになりました。この間、国会内では大きな動きがありました。それは、公立の夜間中学が都道府県1校以上設立ができるような動きがあると同時に、自主夜間中学も色々な面で、国、県、市町村は支援するということが決まりつつあります。

このような中で行われる30周年集会は、注目をされています。是非たくさんの方が参加をしてください。

日 10月17日(土)

時間 1時～ (12時30分開場)

場所 さいたま共済会館(浦和駅西口10分)

内容 ①埼玉に夜間中学を作る会・川口自主夜間中学からの報告

②講演

義務教育拡充議員連盟役員(馳浩衆議院予定)

全国夜間中学事務局 須田登美雄

会費 500円(生徒無料)

当日は、懇親会もあります。(3000円)